

戦略に基づく令和7年度以降 の取組について

令和6年(2024年)8月19日(月)
第2回熊本市観光振興推進協議会



基本施策 (1) 熊本城の魅力の最大化

<これまで各委員からいただいたご意見>

- サグラダファミリア等を参考に復旧工事そのものや、復旧工事に関わる職人にフォーカスしたYouTube動画などにより情報発信し、これらの動画を小中学校などの教材としての活用
- 旅の醍醐味である食を楽しめる施設として、桜の馬場城彩苑のさらなる充実（例：ポップアップストアの展開など）
- 熊本城周辺の再開発、計画策定（城下町への食べ歩き所の誘致、町の景観整備、好立地の空区画の利活用）
- 「生きている熊本城」として、当時の熊本城（城下町）の日常の演出や体験コンテンツの構築（武道、伝統工芸、西南戦争の攻防戦等）
- 旧細川刑部邸の早期再開（ユニークベニューとしての活用）
- 熊本城入場料の値上げ、市民割引や市民入場料無料の日や時間帯の検討

令和7年度以降の取組例

- 熊本城のさらなる活用
 - ・熊本城での新たな体験型コンテンツ、アクティビティ等の造成（武道・伝統工芸品の実演や体験、熊本城の歴史や特性をいかしたイベントの開催）
 - ・熊本城域でのユニークベニューとしての活用拡充
- 熊本城の文化観光資源として情報発信の強化
 - ・復旧工事に関する情報発信強化（復旧工事の様子や職人へのインタビュー動画など）
- 周辺施設との連携
 - ・桜の馬場城彩苑や新町古町エリアと連携した城下町での食べ歩きなど、旅の醍醐味である食を絡めた周辺施設等との連携強化

基本施策 (2) 世界に誇る水資源のブランディング

<これまで各委員からいただいたご意見>

- 水前寺エリアと食を掛け合わせた新たな体験コンテンツの造成
- 馬刺しに匹敵する、熊本を象徴するグルメ（食のアイコン）探し（参考：[寿司といえば、富山 \(pref.toyama.jp\)](http://pref.toyama.jp)）
- 官民一体となった熊本グルメのイメージ作り（おいしいものが何でも揃う熊本の食、熊本海鮮グルメのイメージ強化など）と魅力発信

令和7年度以降の取組例

- 水前寺エリアと食を掛け合わせた新たな体験コンテンツの造成
 - ・水体験型周遊コース造成（白川水源、江津湖等での体験、フルーツ、サウナ、食）、修学旅行向けツアー造成
 - ・サウナ施設や温泉施設等と連携した、サ旅のツアー造成やサ飯の開発・充実
 - ・熊本の地下水を推すサウナイベントの開催
- 熊本を象徴する官民一体となったグルメ（食のアイコン）探し（イメージ作り）
 - ・熊本の地下水で育まれた「食」や「酒」の魅力など、訪れてみたいくなるような水関連のストーリー性の構築や企業と連携した熊本市の農産物を使った商品開発
 - ・イメージ動画の作成、SNS投稿、観光展への出展などによる積極的な情報発信

基本施策 (3) 観光資源の魅力創出

<これまで各委員からいただいたご意見>

- 新町古町の魅力（城下町の文化、伝統工芸、食等）を活かし、熊本駅、新町古町、熊本城が連携したまち歩きの充実
- 江津湖散策、川尻六葉匠体験など、外国人観光客の嗜好・ニーズに応じたまち歩きモデルコースの造成
- 熊本城や水前寺地区周辺の利活用できていない土地や建物を活用したレトロなカフェなどの検討

令和7年度以降の取組例

- 新町古町エリアの魅力活用・まち歩きコースの造成など
 - ・城下町である新町古町の文化、伝統工芸、食等の特性をいかした、熊本駅、新町古町、熊本城のまち歩きの充実
 - ・外国人観光客をターゲットとした、新たなまち歩きモデルコースの造成
 - ・城下町まち歩きマップの作成

基本施策 (4) “まち”の魅力の発揮

<これまで各委員からいただいたご意見>

- ナイトライフの充実（白川夜市をはじめとする夜の特別なイベントの開催、中心商店街のさらなる連携と魅力発信、参考:福岡市の屋台）
- 熊本のエンターテインメント性を活かしたナイトタイムコンテンツや食の魅力の充実により、宿泊促進を強化
- マルシェ、アート、グルメ・酒、コスプレ、武道など、多様なイベントの充実（いつもにぎわいがあるような状況を目指し、市民も楽しめ、観光客の満足度・特別感に貢献）
- 滞在費補助やハラル対応など飲食面での支援を含む総合的なロケーション撮影の誘致及び支援（参考：佐賀県フィルムコミッションによる東南アジアからの誘致・支援事例）

令和7年度以降の取組例

- ナイトタイムエコノミーの強化
 - ・観光客やビジネスマンの誘致を目的としたナイトイベントの開催（福岡市との連携等）
- くまもとの特性をいかしたイベント等の充実
 - ・観光客が熊本城やその周辺で体験できるくまもとならではのアクティビティやイベントの実施
- ロケ誘致の促進
 - ・くまもとシティフィルムオフィスによるロケーション撮影のための支援制度の創設

基本施策 (1) 質の高い観光情報の発信

<これまで各委員からいただいたご意見>

- 旅行者に旅マエで見ってもらうためのツールの活用や情報発信の充実
- 熊本城ガイドにおける、同時通訳などを活用した多言語対応の充実
- テーマ別のガイドブック・マップ作成（同じデザインで色を変え、好みに合わせて手に取れるようにする）
- イベント情報をまとめた情報発信（市政だよりの掲載イベント情報等をまとめ観光案内所などに設置）

令和7年度以降の取組例

- 各種SNSを通じた旅マエにおける情報発信の充実、イベント情報やテーマ別のパンフレット等の検討
- 熊本城・水前寺や観光案内所等における多言語案内ガイドの充実

基本施策 (2) 目的地までの移動の円滑化

<これまで各委員からいただいたご意見>

- 交通結節点における車内アナウンス等による観光施設の情報発信
- 交通結節点における交通情報の充実（桜町バスターミナルで飛行機の運行状況や新幹線の時刻表などの情報提供等）
- 訪日外国人の市電、バス利用時等におけるQRコードなどを活用した多言語対応の充実やモバイルパス等によるシームレスな公共交通機関の環境整備

令和7年度以降の取組例

- 交通サービスの利便性向上、案内の充実
 - ・交通結節点における交通情報の充実（桜町バスターミナルで飛行機の運行状況や新幹線の時刻表などの情報提供等）
 - ・観光施設等への最適な交通手段を検索できるMaaS（マース）の活用促進やシェアサイクルポートの増設等
 - ・WEBサイト「熊本市観光ガイド」において、目的地までの最適な交通手段や利用方法、発着時間などに関するページの制作
 - ・基幹交通（飛行機、JR、高速バス）の災害等による遅延や運休の情報等の一元化

基本施策 (3) 快適で安心・安全な滞在環境の構築

<これまで各委員からいただいたご意見>

- シェアサイクルなど外国人観光客が利用しやすい決済方法への対応
- 域内の交通結節点や宿泊、観光施設等における滞在時手荷物への対応（預かり、配送など）の充実

令和7年度以降の取組例

- 観光施設や公共交通機関等のキャッシュレス決済の普及促進
 - ・旅行者の利便性を考慮した多様な決済方法の普及検討
- 旅行者の利便性向上に向けた交通結節点や観光施設等における「手ぶら観光」の検討

基本施策 (1)市場調査に基づく施策の検討・検証

基本施策 (2)戦略的なプロモーション

〈これまで各委員からいただいたご意見〉

- 水前寺成趣園の伝統や熊本城の復興を教育旅行に適した観光素材として発信
- 地理的に近い韓国や台湾などのアジア富裕層を呼び込む仕組みづくり
- 関東、関西地方（ゴールデンルート）を訪れる訪日外国人を取り組むための効果的な情報発信
- 訪日外国人が九州内で周遊できる他自治体等と連携した移動円滑化の強化
- 熊本市を熊本県や九州の旅行における中心ハブとして紹介（市内に連泊し、熊本市内、阿蘇、福岡、A列車で行こうを楽しむプラン等）
- インバウンドの立ち寄り率が高い広島と連携し、広島～福岡～熊本などのコース設定による販売促進プロモーション
- 外国人観光客、九州内からの旅行者、関東や関西からの来熊はそれぞれ違った視点でのアプローチが必要であり、それぞれに合わせた細かな戦略立案とPDCAを回して長年に渡って施策を積み重ねていく
- 既存オンラインメディアの活用により、熊本の存在感を上げる（観光施設などのtripadvisor, google my businessへの登録、Wikipediaページの作成・更新、ニュースメディアでスポンサードコンテンツを作るなど）

令和7年度以降の取組例

- ターゲットに応じた誘客プロモーションや情報発信
 - ・韓国や台湾などのアジア富裕層の誘客促進
 - ・ゴールデンルートを訪れている訪日外国人旅行者の誘客促進を図るため、西日本・九州の自治体と一体（西のゴールデンルートアライアンス）となり、西のゴールデンルートとして広域観光周遊ルートを設定し、魅力発信、誘客促進プロモーションを引き続き実施
 - ・歴史文化学習、防災学習に適した教育素材としての優位性をいかした教育旅行の誘致や教材としての活用
- 広域周遊観光の推進
 - ・九州各自治体や民間事業者等と連携した移動の円滑化も考慮した新たな広域周遊ルートの設定
- 既存オンラインメディアの更なる活用
 - ・観光施設などのtripadvisor, google my businessの情報更新、Wikipediaページの作成・更新、ニュースメディアでスポンサードコンテンツの作成

基本施策 (3) 熊本ならではのMICEの推進

〈これまで各委員からいただいたご意見〉

- 熊本の食文化、歴史的な背景や熊本城などを総合的に活用した戦略的なMICE誘致

基本施策 (4) 熊本ファンと一体となった誘客促進

令和7年度以降の取組例

- 戦略的なMICEの誘致

- ・熊本の食文化、歴史的な背景や熊本城など、熊本の特性を総合的に活用したMICEの誘致

基本施策 (1) 観光産業の経営基盤強化

基本施策 (2) 持続可能な観光まちづくりの推進

<これまで各委員からいただいたご意見>

- 熊本が魅力的な都市であり続けるため、熊本城をはじめ、食・伝統文化などの本市ならではの魅力を市民に根付かせる継承や保全などの取り組みが必要
- 市民が熊本観光の担い手であると感じることができる意識の醸成や市民レベルに活動の裾野を広げるための場づくり、機会の提供が必要
- 西南戦争、加藤清正、宮本武蔵のストーリーを小学生に伝える

令和7年度以降の取組例

○継承への市民意識の醸成

- ・次世代を担う子どもや若者をはじめとする市民が、本市観光の魅力に触れ、理解する機会を増やし、地域への愛着や誇りを持つきっかけづくりに取り組む